

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 26 年 2 月 6 日 (2014.2.6)

【公表番号】特表 2013-515174 (P2013-515174A)

【公表日】平成 25 年 5 月 2 日 (2013.5.2)

【年通号数】公開・登録公報 2013-021

【出願番号】特願 2012-544868 (P2012-544868)

【国際特許分類】

D 0 4 H 1/435 (2012.01)

D 0 4 H 3/16 (2006.01)

D 0 4 H 1/4291 (2012.01)

【F I】

D 0 4 H 1/435

D 0 4 H 3/16

D 0 4 H 1/4291

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 12 月 12 日 (2013.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 つ以上の熱可塑性脂肪族ポリエステルと、
ウェブの 0 重量 % 超で、10 重量 % 以下の量のポリプロピレンと、
ポリエステルの中に組み込まれた 1 つ以上のアルキル、アルケニル、アラルキル又はアルカリルのアニオン性界面活性剤と、
を含む複数の繊維を含む、不織布ウェブであって、前記ウェブは、前記ウェブが、無抑制条件で、前記繊維のガラス転移温度を超える温度まで加熱されたときに 10 % 以下で減少する、前記ウェブの平面内の少なくとも 1 つの寸法を有する、不織布ウェブ。

【請求項 2】

前記 1 つ以上のアニオン性界面活性剤が 200 未満の融点を有し、前記組成物の少なくとも 0.25 重量 % で、8 重量 % 以下の量で存在する、請求項 1 に記載の不織布ウェブ。

【請求項 3】

ポリアルキレングリコール、多価アルコール、グリセリントリグリセリド (glycerintriglycerides)、クエン酸エステル、脂肪族ジエステル、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される界面活性剤キャリアを更に含む、請求項 1 または 2 に記載の不織布ウェブ。

【請求項 4】

1 つ以上の熱可塑性脂肪族ポリエステルと、
ウェブの 0 重量 % 超で、10 重量 % 以下の量のポリプロピレンと、
以下の構造：
 $(R - CO_2^-)_n M^{n+}$
を有する粘度調整剤と、を含む複数の微細繊維を含む不織布ウェブであって、式中、R は分枝鎖若しくは直鎖炭素鎖としての C8 ~ C30 のアルキル若しくはアルキレン、又は C12 ~ C30 アラルキルであり、場合により、エチレンオキシド、プロピレンオキシド

基、オリゴマー乳酸及び／又はグリコール酸、又はこれらの組み合わせなどの 0 ~ 100 個のアルキレンオキシド基で置換されてもよく、

M は、H、アルカリ金属、アルカリ土類金属又はアンモニウム基、プロトン化三級アミン若しくは四級アミンであり、

n は 1 又は 2 であり、カチオンの価数に等しく、

前記ウェブは、前記ウェブが、無抑制条件で測定すると、前記繊維のガラス転移温度を超えるが融解温度よりも低い温度まで加熱されたときに 10 % 以下で減少する、前記ウェブの平面内の少なくとも 1 つの寸法を有する、不織布ウェブ。

【請求項 5】

前記粘度調整剤が、アルキルカルボキシレート、アルケニルカルボキシレート、アラルキルカルボキシレート、アルキルエトキシル化カルボキシレート、アラルキルエトキシル化カルボキシレート、アルキルラクチレート、アルケニルラクチレート、ステアロイルラクチレート、ステアレート、これらのカルボン酸、及びこれらの混合物からなる群から選択され、前記粘度調整剤がウェブの約 10 重量パーセント以下の量で存在する、請求項 4 に記載の不織布ウェブ。

【請求項 6】

前記ウェブが生体適合性であり、抗微生物性成分を更に含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の不織布ウェブ。